



Sun™ Management Center 3.5 Sun Enterprise™ 6500/5500/4500/3500 システムのための追補マニュアル

Sun Microsystems, Inc.
4150 Network Circle
Santa Clara, CA 95054
U.S.A.

Part No. 817-2720-10
2003年8月, Revision A

コメントの宛先: docfeedback@sun.com

Copyright 2003 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, CA 95054 U.S.A. All rights reserved.

米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします)は、本書に記述されている製品に採用されている技術に関する知的所有権を有しています。これら知的所有権には、<http://www.sun.com/patents>に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付随する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人 日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun、Sun Microsystems、AnswerBook2、docs.sun.com、Sun StorEdge、Sun Enterprise、および Sun Service は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標もしくは登録商標です。サン・ロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPENLOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインターフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

Use, duplication, or disclosure by the U.S. Government is subject to restrictions set forth in the Sun Microsystems, Inc. license agreements and as provided in DFARS 227.7202-1(a) and 227.7202-3(a) (1995), DFARS 252.227-7013(c)(1)(ii) (Oct. 1998), FAR 12.212(a) (1995), FAR 52.227-19, or FAR 52.227-14 (ALT III), as applicable.

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本書には、技術的な誤りまたは誤植のある可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典:	<i>Sun Management Center 3.5 Supplement for Sun Enterprise 6500/5500/4500/3500 Systems</i> Part No: 816-7383-10 Revision A
-----	--



目次

はじめに	xi
お読みになる前に	xi
マニュアルの構成	xii
UNIX コマンド	xii
書体と記号について	xiii
シェルプロンプトについて	xiv
関連マニュアル	xiv
Sun のオンラインマニュアル	xiv
コメントをお寄せください	xv
1. インストールと設定	1
Sun Enterprise 6500/5500/4500/3500 システム専用のパッケージ	2
Sun Management Center 3.5 のインストールウィザードによる Sun Enterprise 用追加ソフトウェアのインストール	3
Sun Management Center 3.5 ソフトウェアのセットアップウィザードによる Sun Enterprise 用追加ソフトウェアの設定	4
▼ Sun Enterprise 6500/5500/4500/3500 用追加ソフトウェアを設定する	4
「エージェント更新」による複数ホストの更新	5
エージェント更新プロセスを起動する前に	5
▼ 更新対象のホスト上でエージェント更新用設定ファイルを作成する	5
エージェント更新プロセスの使用	6

エージェント更新でサポートされる構成	6
▼ Sun Management Center 3.5 追加ソフトウェアが存在する構成を更新する	6
▼ 追加ソフトウェアが存在しない、または Sun Management Center 3.0 Platform Update 4 追加ソフトウェアが存在する構成を更新する	10
CLI によるソフトウェアのアンインストール	11
▼ Sun Managemnet Center ソフトウェア全体をアンインストールする	11
▼ 追加モジュールを個別にアンインストールする	13
2. Sun Enterprise 6500/5500/4500/3500 システムでの Sun Management Center 3.5 ソフトウェアの使用法	15
該当するプラットフォーム	15
動的再構成 (DR)	16
▼ 動的再構成 (DR) テーブルを表示する	16
DR (動的再構成) のデータ属性テーブル	23
システムボードサマリテーブル	24
「詳細」パネル	25
DR 操作の実行	25
▼ ボードを接続する	26
▼ ボードを切断する	26
▼ ボードを構成する	28
▼ ボードを構成解除する	28
メモリーのテスト	29
▼ メモリーをテストする	29
構成リーダーモジュール	30
構成リーダーモジュールのデータ属性テーブル	30
システムテーブル	31
ボードテーブル	32
CPU ユニット属性テーブル	32
SIMM テーブル	33

AC 電源装置テーブル	33
ホットプラグ充電テーブル	33
補助用 5V テーブル	34
周辺装置用 5V、周辺装置用 12V、システム用 3V、システム用 5V テーブル	34
キースイッチテーブル	35
周辺装置用電源装置テーブル	35
電源装置テーブル	35
ラックファンテーブル	36
遠隔コンソールテーブル	36
FHC テーブル	36
AC テーブル	37
ファンテーブル	37
PFA 規則テーブル	37
入出力コントローラテーブル	38
入出力デバイステーブル	38
ディスクデバイステーブル	39
テープデバイステーブル	39
ネットワークデバイステーブル	40
構成リーダーの規則	40

目次

- 図 1-1 「ジョブの管理」パネル 7
- 図 1-2 「新しいタスク」パネル 8
- 図 2-1 動的再構成 (DR) モジュール 17
- 図 2-2 動的再構成 (DR) テーブル 18
- 図 2-3 「ハードウェア」タブのデフォルト表示 19
- 図 2-4 「ハードウェア」タブ内のプルダウンメニュー 20
- 図 2-5 「ハードウェア」タブの物理表示 21
- 図 2-6 「ハードウェア」タブの論理表示 22
- 図 2-7 「DR (動的再構成)」ウィンドウ 23
- 図 2-8 「DR (動的再構成)」ウィンドウ - 切断されているボードを選択した状態 26
- 図 2-9 切断されたボードの物理表示 (黄色の LED が点灯) 27
- 図 2-10 「確認」ダイアログボックス 28
- 図 2-11 「メモリーテスト」ダイアログボックス 29

表目次

表 1-1	Sun Enterprise 6500/5500/4500/3500 システム用の Sun Management Center パッケージ 2
表 2-1	動的再構成 (DR) の属性 23
表 2-2	システムボードサマリテーブル 24
表 2-3	「DR (動的再構成)」ウィンドウの「詳細」パネル 25
表 2-4	システムの属性 31
表 2-5	ボードの属性 32
表 2-6	CPU ユニットの属性 32
表 2-7	SIMM の属性 33
表 2-8	AC 電源装置の属性 33
表 2-9	ホットプラグ充電の属性 33
表 2-10	補助用 5V の属性 34
表 2-11	周辺装置およびシステム用の電源に共通の属性 34
表 2-12	キースイッチの属性 35
表 2-13	周辺装置用電源装置の属性 35
表 2-14	電源装置の属性 35
表 2-15	ファンの属性 36
表 2-16	遠隔コンソールの属性 36
表 2-17	FHC の属性 36
表 2-18	AC の属性 37
表 2-19	ファンの属性 37

表 2-20	PFA 規則の属性	37
表 2-21	入出力コントローラの属性	38
表 2-22	入出力デバイスの属性	38
表 2-23	ディスクデバイスの属性	39
表 2-24	テープデバイスの属性	39
表 2-25	ネットワークデバイスの属性	40
表 2-26	構成リーダーの規則	40

はじめに

このマニュアルでは、次の Sun Enterprise™ プラットフォームに関するプラットフォーム別の Sun Management Center ソフトウェアの情報を提供します。

- Sun Enterprise 6500 サーバー
- Sun Enterprise 5500 サーバー
- Sun Enterprise 4500 サーバー
- Sun Enterprise 3500 サーバー

このマニュアルは、Sun Enterprise 6500/5500/4500/3500 システムを監視、管理するために、Sun Management Center ソフトウェアをインストールして使用する Sun Fire 6500/5500/4500/3500 のシステム管理者向けです。

Sun Fire 6500/5500/4500/3500 システム用の Sun Management Center 3.5 ソフトウェアおよびマニュアルには、フランス語、日本語、韓国語、簡体字中国語、繁体字中国語版があります。ただし、このマニュアルで使用している画面例は英語版です。

注 – ウィンドウに当該言語のすべてのテキストが表示されていない場合は、ウィンドウのサイズを変更してください。

お読みになる前に

このマニュアルは、『Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド』および『Sun Management Center 3.5 ユーザーガイド』の後にお読みください。『Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド』では、Sun Management Center 3.5 ソフトウェアのインストールおよび設定方法、『Sun Management Center 3.5 ユーザーガイド』では、Sun Management Center の使用方法をそれぞれ詳しく説明しています。

マニュアルの構成

第 1 章では、以下を説明しています。

- Sun Management Center 3.5 のインストールウィザードによる Sun Enterprise 用追加ソフトウェアのインストール
- Sun Management Center 3.5 ソフトウェアのセットアップウィザードによる Sun Enterprise 用追加ソフトウェアの設定
- エージェント更新 (Agent Update) による複数ホストの更新
- CLI によるソフトウェアのアンインストール

第 2 章では、Sun Enterprise 6500/5500/4500/3500 システムでの Sun Management Center 3.5 ソフトウェアの使用方法を説明しています。

今回のリリースに含まれているオープンソースソフトウェアのライセンス条件と帰属、著作権情報については、以下のパスのファイルを参照してください。

```
/cdrom/sunmc_3_5_sparc/image/Webserver/Solaris_9/SUNWtcatr \  
/install/copyright
```

Solaris 8 ソフトウェアを使用している場合は、このパスの Solaris_9 の部分を Solaris_8 に置き換えてください。

UNIX コマンド

このマニュアルには、UNIX[®] の基本的なコマンド、およびシステムの停止、システムの起動、デバイスの構成などの基本的な手順の説明は記載されていません。

基本的なコマンドや手順についての説明は、次のマニュアルを参照してください。

- 『Sun 周辺機器 使用の手引き』
- Solaris[™] オペレーティング環境についてのオンラインマニュアル
- 本システムに付属している他のソフトウェアマニュアル

書体と記号について

書体または記号	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータ出力、コード例。	<code>.login</code> ファイルを編集します。 <code>ls -a</code> を実行します。 <code>% You have mail.</code>
AaBbCc123	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力と区別して表します。	マシン名% su Password:
<i>AaBbCc123</i> またはゴシック	コマンド行の可変部分。実際の名前や値と置き換えてください。	<code>rm filename</code> と入力します。 <code>rm ファイル名</code> と入力します。
『』	参照する書名を示します。	『Solaris ユーザーマニュアル』
「」	参照する章、節、または、強調する語を示します。	第 6 章「データの管理」を参照。 この操作ができるのは「スーパーユーザー」だけです。
\	枠で囲まれたコード例で、テキストがページ行幅をこえる場合に、継続を示します。	<code>% grep `^#define \ XV_VERSION_STRING`</code>

シェルプロンプトについて

シェル	プロンプト
UNIX の C シェル	マシン名%
UNIX の Bourne シェルと Korn シェル	\$
スーパーユーザー (シェルの種類を問わない)	#

関連マニュアル

用途	タイトル	Part No.
ソフトウェアのインストール	Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド	817-3019
ソフトウェアの使用方法	Sun Management Center 3.5 ユーザーガイド	817-3024
注意事項、制限事項、問題点	Sun Management Center 3.5 ソフトウェアご使用にあたって	817-3049
動的再構成 (DR)	Sun Enterprise 6x00, 5x00, 4x00, 3x00 システム Dynamic Reconfiguration ユーザーマニュアル	806-3865

Sun のオンラインマニュアル

サン の各種システムマニュアルは下記 URL より参照できます。

<http://www.sun.com/products-n-solutions/hardware/docs>

Solaris およびその他のマニュアルは下記 URL より参照できます。

<http://docs.sun.com>

コメントをお寄せください

弊社では、マニュアルの改善に努力しており、お客様からのコメントおよびご忠告をお受けしております。コメントは下記宛に電子メールでお送りください。

docfeedback@sun.com

電子メールの表題にはマニュアルの Part No. (817-2720-10) を記載してください。

なお、現在日本語によるコメントには対応できませんので、英語で記述してください。

第1章

インストールと設定

この章では、Sun Enterprise 6500/5500/4500/3500 システム用の Sun Management Center 追加ソフトウェアのインストールや設定、アンインストール、更新を行う方法を説明しています。

Sun Management Center ソフトウェアは、以下から構成されます。

- Sun Management Center の基本部分と基本的なサポート機能を提供する主要パッケージ
- 特定のハードウェアプラットフォームに対するサポート機能を提供する追加コンポーネント

Sun Enterprise 6500/5500/4500/3500 をサポートするには、Sun Management Center 3.5 の主要パッケージと Sun Enterprise 6500/5500/4500/3500 用の追加パッケージが必要です。

Sun Management Center 3.5 ソフトウェア主要パッケージのインストールと設定、起動と停止に関する基本的な情報については、『Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド』を参照してください。この章では、Sun Enterprise 6500/5500/4500/3500 システムに固有の内容についてのみ説明します。



注意 – Sun Management Center 3.5 ソフトウェアに付属しているインストールおよびセットアップスクリプトを使用してください。パッケージを手動で追加したり、構成ファイルを手動で変更したりしないでください。

Sun Management Center 3.5 のインストールおよびセットアップスクリプトまたは GUI パネルによって表示されるメッセージの内容および順番が、この章で示す例と異なることがあります。それらの例は、実際に表示されるメッセージのほしい内容と順番を示すためのものです。実際のインストールおよびセットアップスクリプトは、インストールする追加コンポーネントや、その他の選択するオプションによって異なります。

Sun Enterprise 6500/5500/4500/3500 システム専用のパッケージ

表 1-1 は、Sun Management Center 3.5 の主要パッケージとともに提供される Sun Enterprise 6500/5500/4500/3500 システム専用のパッケージを示しています。Sun Management Center に関する一般的な要件については、『Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド』を参照してください。

表 1-1 Sun Enterprise 6500/5500/4500/3500 システム用の Sun Management Center パッケージ

パッケージ	説明
SUNWessdr	Sun Enterprise 6500/5500/4500/3500 の動的再構成用の Sun Management Center サーバー属性
SUNWesadr	Sun Enterprise 6500/5500/4500/3500 の動的再構成用の Sun Management Center モジュール
SUNWesmcf	Sun Management Center のメタデータ構成リーダー
SUNWsyncfd	Sun Management Center エージェント - 構成リーダーモジュール
SUNWensfc	Sun Enterprise 6500/5500/4500/3500 構成リーダー用の Sun Management Center 英語メッセージ
SUNWcemcf	簡体字中国語の Sun Management Center メタデータ構成リーダー
SUNWcycfd	簡体字中国語の Sun Enterprise 3000-6500 Servers/sun4d SunMC エージェント構成リーダーモジュール
SUNWcssdr	簡体字中国語の Sun Management Center Sun Enterprise 6500/5500/4500 DR サーバー属性
SUNWfemcf	フランス語の Sun Management Center メタデータ構成リーダー
SUNWfycfd	フランス語の Sun Enterprise 3000-6500 Servers/sun4d SunMC エージェント構成リーダーモジュール
SUNWfssdr	フランス語の Sun Management Center Sun Enterprise 6500/5500/4500 DR サーバー属性
SUNWhemcf	繁体字中国語の Sun Management Center メタデータ構成リーダー
SUNWhycfd	繁体字中国語の Sun Enterprise 3000-6500 Servers/sun4d SunMC エージェント構成リーダーモジュール
SUNWhssdr	繁体字中国語の Sun Management Center Sun Enterprise 6500/5500/4500 DR サーバー属性

表 1-1 Sun Enterprise 6500/5500/4500/3500 システム用の Sun Management Center パッケージ

パッケージ	説明
SUNWjemcf	日本語の Sun Management Center メタデータ構成リーダー
SUNWjycfd	日本語の Sun Enterprise 3000-6500 Servers/sun4d SunMC エージェント構成リーダーモジュール
SUNWjssdr	日本語の Sun Management Center Sun Enterprise 6500/5500/4500 DR サーバー属性
SUNWkemcf	韓国語の Sun Management Center メタデータ構成リーダー
SUNWkycfd	韓国語の Sun Enterprise 3000-6500 Servers/sun4d SunMC エージェント構成リーダーモジュール
SUNWkssdr	韓国語の Sun Management Center Sun Enterprise 6500/5500/4500 DR サーバー属性

注 – これらのパッケージは pkgadd を使用してインストールしないでください。インストールスクリプトを使用してください。

Sun Management Center 3.5 のインストールウィザードによる Sun Enterprise 用追加ソフトウェアのインストール

ソフトウェア全体のインストール方法の詳細は、『Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド』の第 6 章「Sun Management Center 3.5 のインストールと設定」を参照してください。以下はインストール手順の概略です。

1. 『Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド』の第 6 章「Sun Management Center 3.5 のインストールと設定」で説明しているように、スーパーユーザーで `es-guiinst` スクリプトを実行します。
2. 主要ソフトウェアをインストールすると、選択してインストールすることが可能な追加製品の一覧からなる「アドオン製品の選択」画面が表示されます。Sun Enterprise システムに適用するアドオン製品を選択して、「次へ」をクリックします。
3. すべてのソフトウェアをインストールすると、Sun Management Center のセットアップウィザードが自動的に起動します。

Sun Management Center 3.5 ソフトウェアのセットアップウィザードによる Sun Enterprise 用追加ソフトウェアの設定

この節では、Sun Management Center 3.5 のセットアップウィザードを使用して Sun Enterprise 用追加ソフトウェアの設定をする方法を説明します。

注 – パネルの下部にある「戻る」ボタンが有効な場合は (その場合、ボタンがグレー表示されていない)、ボタンをクリックすることによって直前の操作に戻ることができます。「戻る」ボタンがグレー表示されている場合、ボタンは無効で、直前の操作に戻ることはできません。

注 – Sun Management Center 3.5 主要ソフトウェアの設定中に `setup-responses-file` を使用して、現在のマシンの設定の複製を他のマシン上に作成する場合は、必ず「セットアップ応答データの保存」をクリックします。これで、自分の行ったすべての応答が、`/var/opt/SUNWsymon/install/setup-responses-file` に保存されます。詳細は、『Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド』の「Solaris プラットフォーム上のベース製品とアドオンの設定」を参照してください。

▼ Sun Enterprise 6500/5500/4500/3500 用追加ソフトウェアを設定する

- 追加ソフトウェアを設定するホスト上で、`es-guisetup` と入力して、Sun Management Center 3.5 のセットアップウィザードを起動します。
追加ソフトウェアが自動的に設定されます。

「エージェント更新」による複数ホストの更新

この節では、エージェント更新を使用して一度に複数のホストを更新する方法を説明します。このエージェント更新プロセスそのものは、Sun Management Center サーバマシンで実行する必要があります。また、更新対象のすべてのホスト上で Sun Management Center 3.5 エージェントを必ず動作させておく必要もあります。

エージェント更新プロセスを起動する前に

エージェント更新を使用して Sun Enterprise プラットフォームエージェントモジュールを完全にインストールして設定するには、Sun Management Center サーバマシンでエージェント更新プロセスを実行する前に、更新対象のホスト上のモジュール用のエージェント更新用構成ファイルを作成しておく必要があります。

注 – Sun Management Center 3.5 主要ソフトウェアの設定中に `setup-responses-file` を使用して、現在のマシンの設定の複製を他のマシン上に作成する場合は、必ず「セットアップ応答データの保存」をクリックします。これで、自分の行ったすべての応答が、`/var/opt/SUNWsymon/install/setup-responses-file` に保存されます。詳細は、『Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド』の「Solaris プラットフォーム上のベース製品とアドオンの設定」を参照してください。

▼ 更新対象のホスト上でエージェント更新用設定ファイルを作成する

1. Sun Enterprise プラットフォームエージェントが更新対象のすべてのホストにインストールされていることを確認します。
2. `es-setup` スクリプトまたは `es-guisetup` ウィザードを使用して、更新対象のホスト上で Sun Enterprise プラットフォームエージェントモジュールが設定されていることを確認します。

この確認を終えると、最初に提供されたホスト別の情報を利用した、エージェント更新による以降のプラットフォームエージェント設定処理が自動的に機能します。

エージェント更新プロセスの使用

エージェント更新では、目的のマシンに配布する追加コンポーネントからなるイメージファイルを作成し、「ジョブの管理」タスクリストに新しいジョブを追加します。

エージェント更新でサポートされる構成

エージェント更新を使用して以下の構成を更新することができます。

- 6 ページの「Sun Management Center 3.5 追加ソフトウェアが存在する構成を更新する」
- 10 ページの「追加ソフトウェアが存在しない、または Sun Management Center 3.0 Platform Update 4 追加ソフトウェアが存在する構成を更新する」

▼ Sun Management Center 3.5 追加ソフトウェアが存在する構成を更新する

この手順は、Sun Management Center 3.5 追加ソフトウェアが存在する構成の更新にのみ使用できます。

1. `es-gui-imagetool` または `es-imagetool` (基本 Sun Management Center スクリプト) のいずれかを使用して目的のエージェントマシンに配布する、適切な Sun Enterprise 用追加コンポーネントからなるイメージファイルを作成します。

ウィザードまたは CLI 形式のイメージツールの使用方法に関する詳細は、『Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド』の第 8 章「Sun Management Center のインストール後の作業」の参照してください。

2. Sun Management Center メインコンソールウィンドウの「ツール」メニューから「ジョブの管理...」オプションを選択します。

「ジョブの管理」パネルが表示され (図 1-1)、このパネルからイメージファイルを配布することができます。

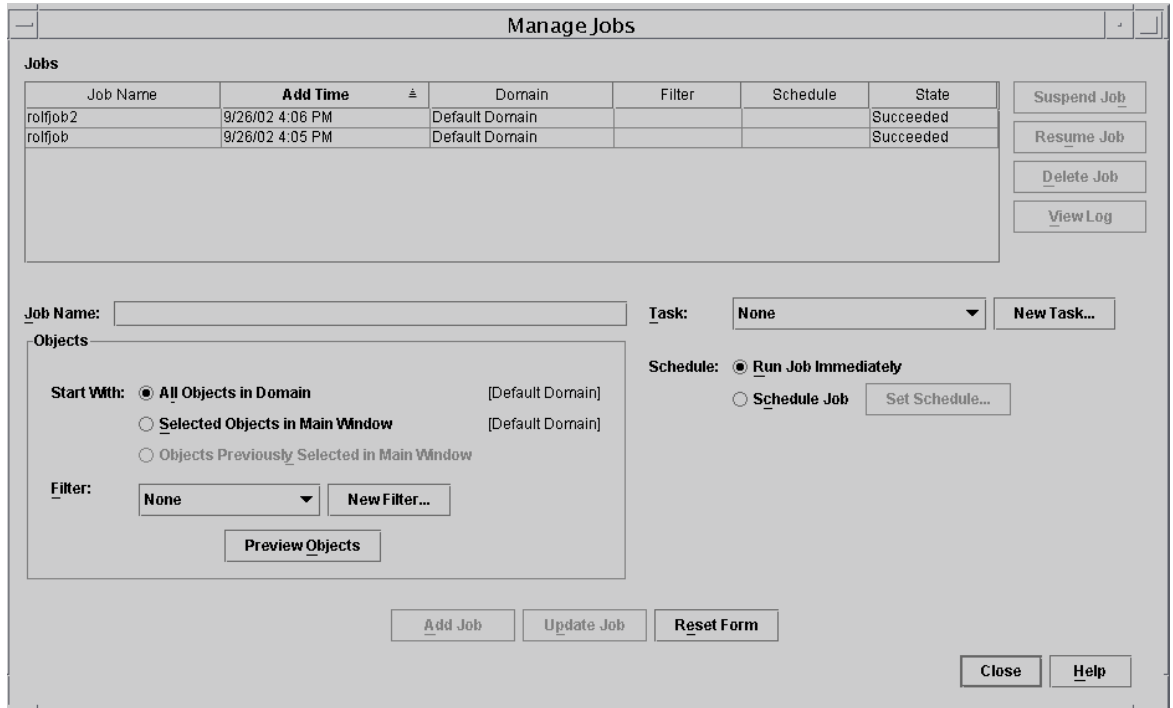


図 1-1 「ジョブの管理」パネル

3. 「ジョブの管理」パネルで「新しいタスク...」ボタンを選択します。

「新しいタスク」パネルが表示され (図 1-2)、このパネルから配布するエージェント更新イメージファイルを指定することができます。

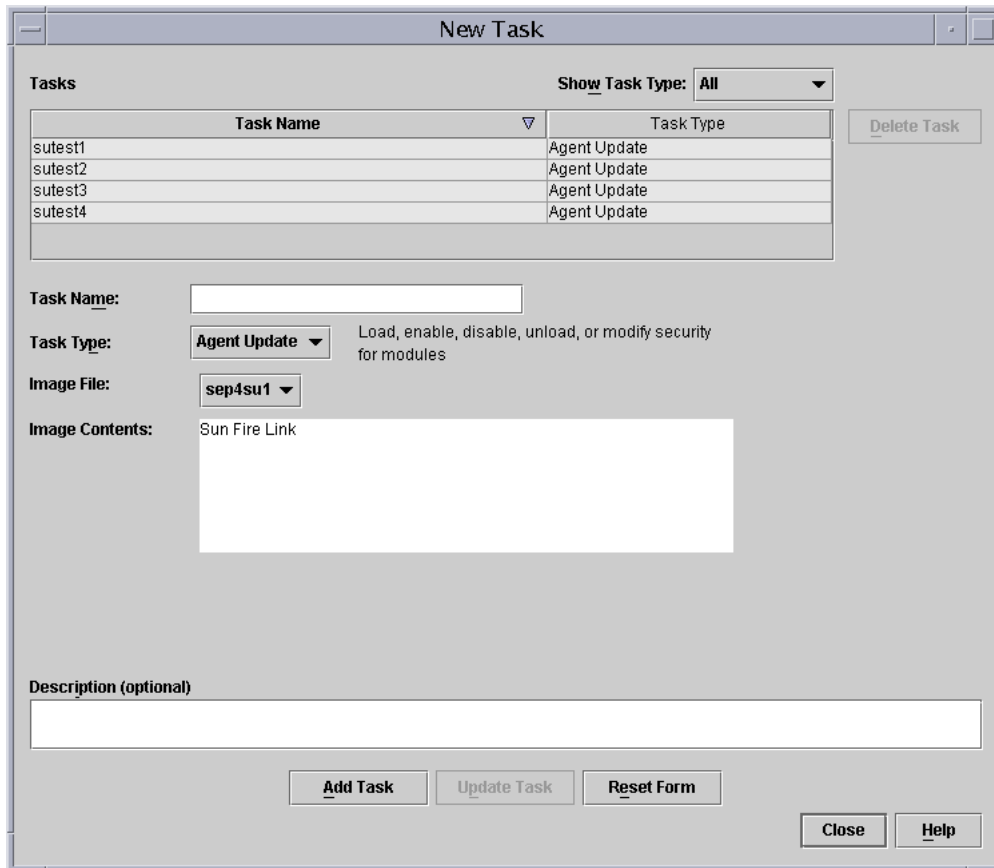


図 1-2 「新しいタスク」パネル

4. 「新しいタスク」パネル (図 1-2) で、以下のことを行います。
 - a. 「タスクタイプ」で「エージェント更新」を選択します。
 - b. 手順 1 で作成したイメージファイルを選択します。
 - c. タスク名を入力します。
 - d. 「タスクの追加」ボタンをクリックします。
 - e. 「閉じる」ボタンをクリックします。
5. 「ジョブの管理」パネル (図 1-1) で、以下のことを行います。
 - a. ジョブ名を入力します。
 - b. 手順 4 で作成したタスクを選択します。

c. 以下のいずれかを行って、タスクの実行予定を作成します。

- タスクをただちに実行する場合は、「すぐに実行」のラジオボタンをクリックします。
- タスクの実行予定を作成する場合は、「ジョブスケジュール」のラジオボタンをクリックして、実行時期を設定します。

注 – イメージファイルの配布先のオブジェクト (エージェントマシン) を選択する前に、すべてのエージェントマシンを含むグループオブジェクトを作成することができます。こうすれば、1 つずつエージェントマシンを選択する必要はありません。オブジェクトグループの作成についての詳細は、『Sun Management Center 3.5 ユーザーガイド』の第 3 章の「グループを作成する」を参照してください。

d. 以下のいずれかを行って、イメージファイルの配布先のオブジェクト (エージェントマシン) を選択します。

- 「ドメイン内のすべてのオブジェクト」のボタンをクリックして、オブジェクトをさらに選別するためのフィルタを指定する。
- 「メインウィンドウ内のすべてのオブジェクト」のボタンをクリックして、オブジェクトを 1 つずつ選択する。

e. 選択したオブジェクト (エージェントマシン) を確認し、選択内容に誤りがあれば、やり直します。

f. 「ジョブの追加」ボタンをクリックします。

ジョブが開始され、選択されたオブジェクト (エージェントマシン) にイメージファイルが配布されます。ジョブの実行中は、「ジョブの管理」パネルの「ジョブ」リストにそのことが表示されます。ジョブのステータスとして、ジョブの実行中と完了が示されます。

注 – 複数ホストの更新中に、あるホストで問題が発生すると、他の大部分のホストが正常に更新されたとしても、ステータスとして「Failed (失敗)」が返されます。その場合は、「ジョブの管理」パネルの「ジョブ」リストの右側の「ログ表示」をクリックして、成功および失敗した更新の一覧を参照してください。エージェント更新が成功した場合、Sun Management Center エージェントは自動的に再起動します。配布先のホストのそれぞれについて、Sun Management Center コンソールのホストの詳細ウィンドウを開き、適切なモジュールが存在し、動作しているかを確認することができます。

▼ 追加ソフトウェアが存在しない、または Sun Management Center 3.0 Platform Update 4 追加ソフトウェアが存在する構成を更新する

この手順は以下のいずれかの構成に使用できます。

- 追加ソフトウェアが存在しない構成から Sun Management Center 3.5 追加ソフトウェアへの更新
 - Sun Management Center 3.0 Platform Update 4 追加ソフトウェアが存在する構成から Sun Management Center 3.5 追加ソフトウェアへの更新
1. Sun Management Center サーバマシン上でスーパーユーザーとしてログインします。
 2. イメージツールのいずれかを使用してエージェント更新イメージを作成します。
 - `es-gui-imagetool` を使用してエージェント更新イメージを作成するには、『Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド』の「GUI イメージツールを使用する」の手順に従います。
 - `es-imagetool` を使用してエージェント更新イメージを作成するには、『Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド』の「コマンド行イメージツールを使用する」の手順に従います。
 3. 各更新対象マシンのルートディレクトリに
`/opt/SUNWsymon/base/bin/agent-update.bin` ファイルをダウンロードします。

`/opt` 以外のディレクトリに Sun Management Center をインストールしている場合は、`/installldir/SUNWsymon/base/bin/agent-update.bin` をダウンロードします。`installldir` はユーザー指定のインストールディレクトリです。
 4. 更新対象のマシン上でスーパーユーザーとしてログインします。
 5. ダウンロードした `agent-update.bin` が存在するディレクトリに移動します。
 6. `./agent-update.bin -s server -r http-port -p image-name` と入力します。
 - `server` は手順 1 でログインしたサーバーです。
 - `http-port` は Sun Management Center Web サーバーポートです。
 - `image-name` は手順 2 で作成したエージェント専用イメージの名前です。
 7. セキュリティーシードおよび SNMPv1 コミュニティー文字列を指定します。

エージェント更新プロセスは、セキュリティーシードおよび SNMPv1 コミュニティー文字列を入力するよう求めます。
 - セキュリティーシードは、Sun Management Center サーバーおよびエージェントの設定で指定したのと同じシードである必要があります。

- SNMPv1 コミュニティー文字列は、Sun Management Center サーバーおよびエージェントの設定で指定したのと同じ文字列である必要があります。

上記以外の情報の入力はありません。更新プロセスがマシンに更新イメージを適用します。

更新プロセスが完了したら、サーバーホスト上のログファイル /var/opt/SUNWsymon/log/agent-update.log を表示することによって更新状態を確認します。

CLI によるソフトウェアのアンインストール

CLI を使用して以下をアンインストールすることができます。

- Sun Management Center ソフトウェア全体 (11 ページの「Sun Management Center ソフトウェア全体をアンインストールする」を参照)
- Sun Enterprise 用追加ソフトウェアの 1 つまたは複数モジュール (13 ページの「追加モジュールを個別にアンインストールする」を参照)

▼ Sun Management Center ソフトウェア全体をアンインストールする

1. スーパーユーザーで以下を入力します。

```
# ./es-uninst
```

以下のメッセージが表示されます。

```
This script will help you to uninstall the Sun Management Center software.

Following Sun Management Center Products are installed:
-----

PRODUCT                                DEPENDENT PRODUCTS
-----

Production Environment                  All Addons
Sun Enterprise 6500-3500 Servers/sun4d DR          None
Sun Enterprise 6500-3500 Servers/sun4d Config Reader  None

Do you want to uninstall Production Environment? [y|n|q]
```

2. 製品環境をアンインストールしてもよい場合は **y** を入力します。これで、Sun Management Center ソフトウェア全体がアンインストールされます。

以下のメッセージが表示されます。

```
This will uninstall ALL Sun Management Center Products. !!!

Do you want to change selection? [y|n|q]
```

3. 以下のいずれかの操作をします。

- 選択内容を変更する場合は、**y** を入力します。
選択内容が表示され、手順 2 の先頭に戻ります。
- 選択内容を変更しない場合は、**n** を入力します。
以下のメッセージが表示されます。

```
Do you want to preserve database? [y|n|q]
```

注 - y (はい) と応答すると、開および閉状態のアラーム、読み込み済みのモジュールとその設定、検出情報、管理対象オブジェクト、規則しきい値などの、データベース内のあらゆるデータが残されます。

- 現在のトポロジやイベントデータを残す場合は `y`、廃棄する場合は `n` を入力します。
以下のメッセージが表示されます。

```
Proceed with uninstall? [y|n|q]
```

- アンインストールしてもよい場合は `y`、アンインストールをしない場合は `n` を入力します。
`y` を入力した場合は、アンインストールするパッケージの一覧が表示され、アンインストールされたパッケージ、アンインストール状況、ログファイルの場所が表示されます。

▼ 追加モジュールを個別にアンインストールする

- スーパーユーザーで以下を入力します。

```
# ./es-uninst
```

以下のメッセージが表示されます。

```
This script will help you to uninstall the Sun Management Center software.
```

```
Following Sun Management Center Products are installed:
```

```
-----  
PRODUCT                                DEPENDENT PRODUCTS  
-----  
Production Environment                  All Addons  
Sun Enterprise 6500-3500 Servers/sun4d DR      None  
Sun Enterprise 6500-3500 Servers/sun4d Config Reader  None
```

```
Do you want to uninstall Production Environment? [y|n|q]
```

- 製品環境をアンインストールしないで、モジュールを個別にアンインストールする場合は `n` を入力します。

以下のメッセージが表示されます。

```
Do you want to uninstall Sun Enterprise 6500-3500 Servers/sun4d DR [y|n|q]  
Do you want to uninstall Sun Enterprise 6500-3500 Servers/sun4d Config Reader  
[y|n|q]
```

3. アンインストールする場合は Sun Enterprise 6500-3500 Servers/sun45d DR または Config Reader の横に **y**、アンインストールしない場合は **n** を入力します。
アンインストールされるモジュールに続けてメッセージが表示されます。

```
Do you want to change selection? [y|n|q]
```

4. 以下のいずれかの操作をします。
- 選択内容を変更する場合は、**y** を入力します。
選択内容が表示され、手順 3 の先頭に戻ります。
 - 選択内容を変更しない場合は、**y** を入力します。
以下のメッセージが表示されます。

```
Proceed with uninstall? [y|n|q]
```

5. アンインストールしてもよい場合は **y**、アンインストールしない場合は **n** を入力します。
- y** を入力した場合は、アンインストールするパッケージの一覧が表示され、アンインストールされたパッケージ、アンインストール状況、ログファイルの場所が表示されます。

第2章

Sun Enterprise 6500/5500/4500/3500 システムでの Sun Management Center 3.5 ソフト ウェアの使用方法

この追補マニュアルでは、次の項目について説明します。

- 該当するプラットフォーム
- 動的再構成 (DR)
- ボードを接続する
- ボードを切断する
- ボードを構成する
- ボードを構成解除する
- メモリーをテストする
- 構成リーダーモジュール
- 構成リーダーの規則

該当するプラットフォーム

このマニュアルでは、次の Sun Enterprise^a プラットフォームに関するプラットフォーム別の Sun Management Center ソフトウェアの情報を提供します。

- Sun Enterprise 6500 サーバー
- Sun Enterprise 5500 サーバー
- Sun Enterprise 4500 サーバー
- Sun Enterprise 3500 サーバー

『Sun Management Center 3.5 ユーザーガイド』では、サポートされているすべてのプラットフォームに共通のソフトウェア機能について説明し、プラットフォームによって異なる機能については、それぞれの追補マニュアルで説明しています。

Sun Management Center ソフトウェアによるマシンの管理および監視方法に関する詳細は、ご使用のマシン用の追補マニュアルと『Sun Management Center 3.5 ユーザーガイド』の両方を参照してください。

動的再構成 (DR)

注 – この追補マニュアルでは、ハードウェアリリース 12/02 またはそれ以降の Solaris™ 9 オペレーティング環境が動作する Sun Enterprise 6500/5500/4500/3500 システムにのみ該当する動的再構成機能を説明します。

DR 機能により、システムの動作中でも、CPU、メモリー、入出力ボードなどのハードウェア装置の追加、取り外し、交換ができます。また、予備の装置としてすぐに使用できるようボードに電源を供給しておいて、アクティブでない状態にしておくこともできます。DR 機能は、ホットプラグ機能対応のボードおよびスロットを持つシステムでのみ使用することができます。

注 – Sun Management Center ソフトウェアの DR 機能を使用するには、DR (動的再構成) モジュールが読み込まれている必要があります。モジュールの読み込みについての詳細は、『Sun Management Center 3.5 ユーザーガイド』の「モジュールの管理」の章を参照してください。

▼ 動的再構成 (DR) テーブルを表示する

動的再構成テーブルを表示するには、以下のいずれかを行います。

- プラットフォームの詳細ウィンドウの「ブラウザ」タブと「ハードウェア」アイコンを見る。図 2-1 は、動的再構成モジュールのアイコンを示しています。

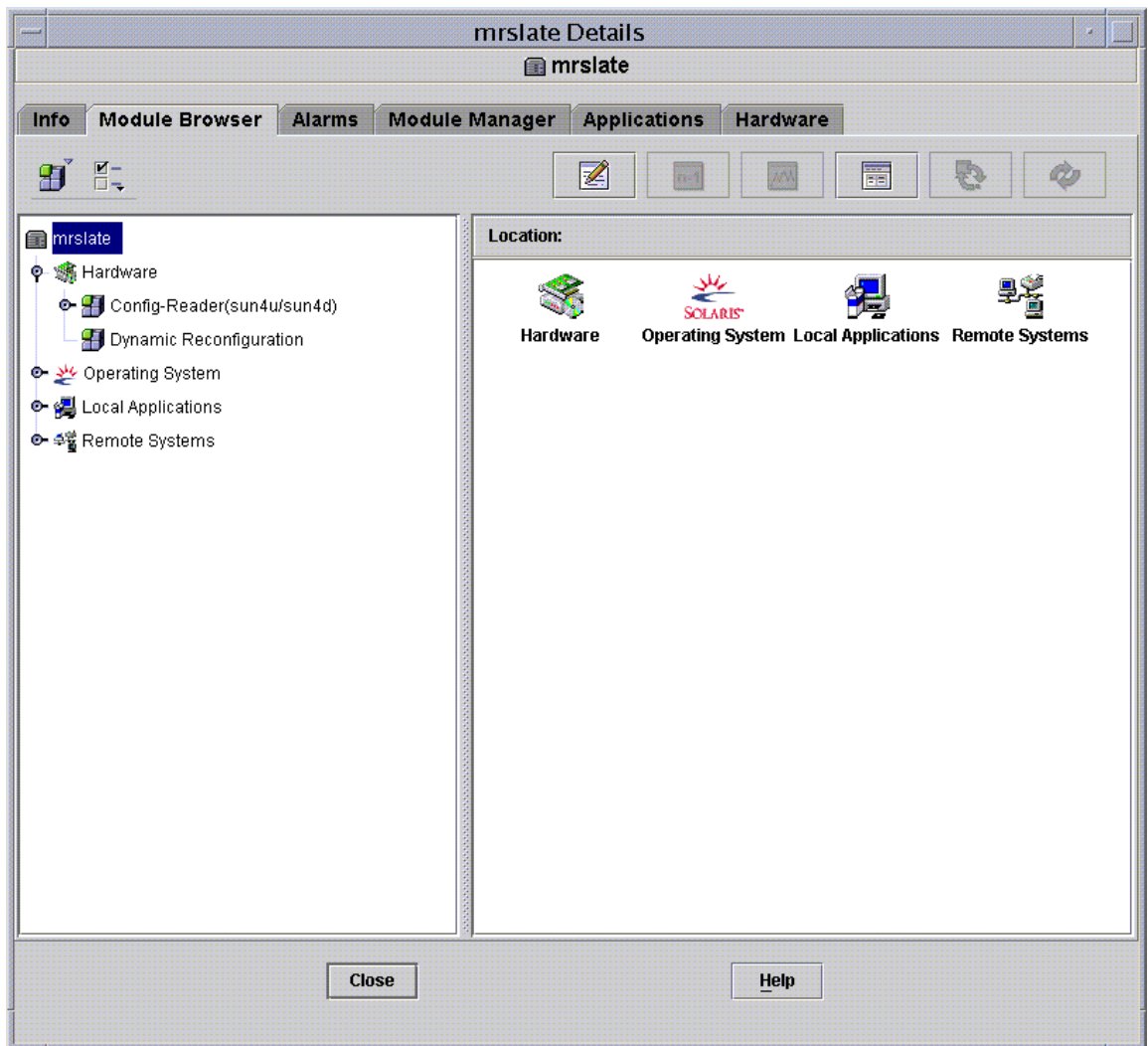


図 2-1 動的再構成 (DR) モジュール

- 「動的再構成」をダブルクリックする。図 2-2 に示すような動的再構成テーブルが表示されます。

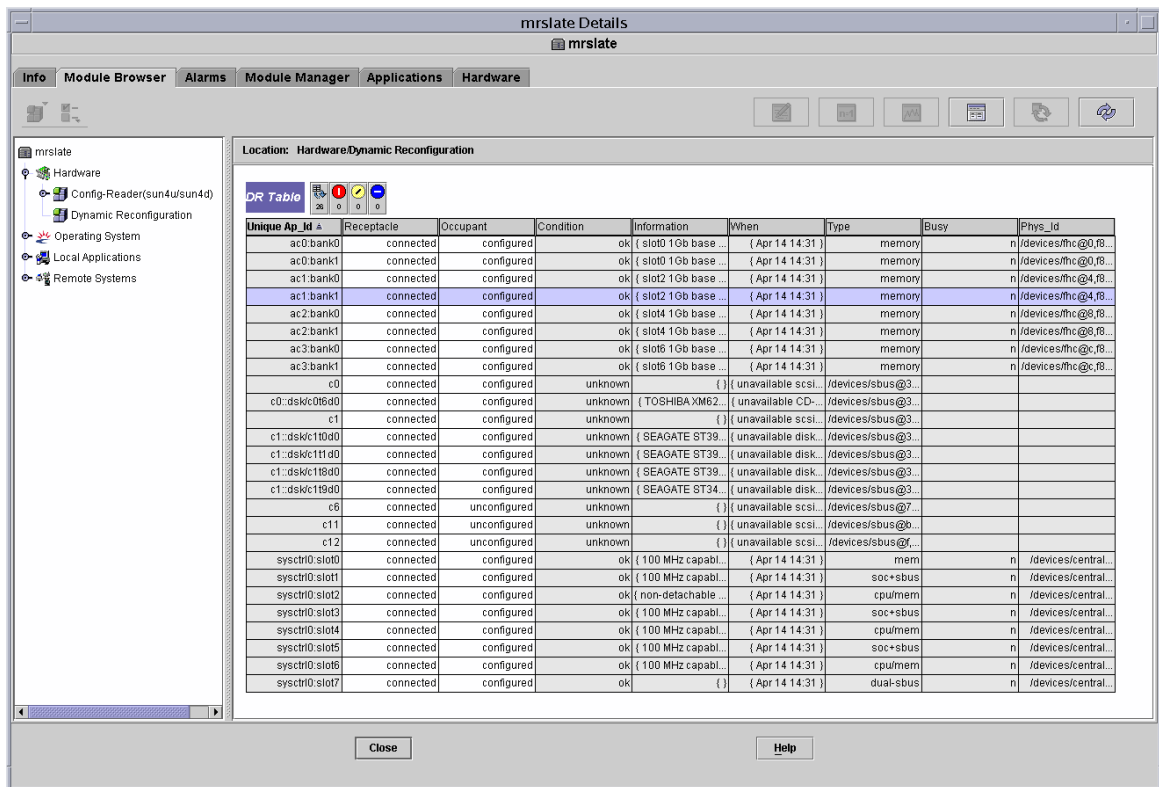


図 2-2 動的再構成 (DR) テーブル

- 「DR (動的再構成)」 ボタンは、「詳細」ウィンドウの「ハードウェア」タブの物理表示および論理表示にも表示されます。ただし、デフォルトでは、「ハードウェア」タブには最初に「ハードウェアの概要」テーブルが表示されるため (図 2-3)、「DR (動的再構成)」 ボタンは表示されません。

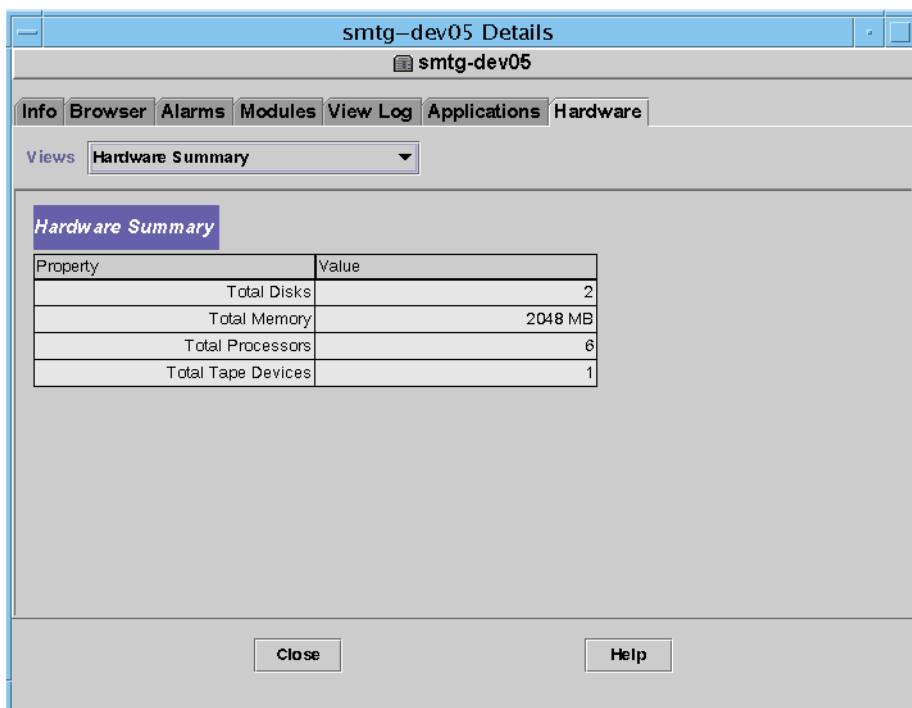


図 2-3 「ハードウェア」タブのデフォルト表示

DR (動的再構成) テーブルを表示するには、次の操作をします。

- a. 「表示」プルダウンメニューを開いて (図 2-4)、システム表示の 1 つを選択します。
選択したシステム表示によって、システムの物理表示 (図 2-5) または論理表示 (図 2-6) のいずれかが表示されます。「DR (動的再構成)」ボタンは、このどちらの表示にも用意されています。
- b. 「DR (動的再構成)」ボタンをクリックすると、「DR (動的再構成)」ウィンドウが表示されます (図 2-7)。

プルダウンメニュー

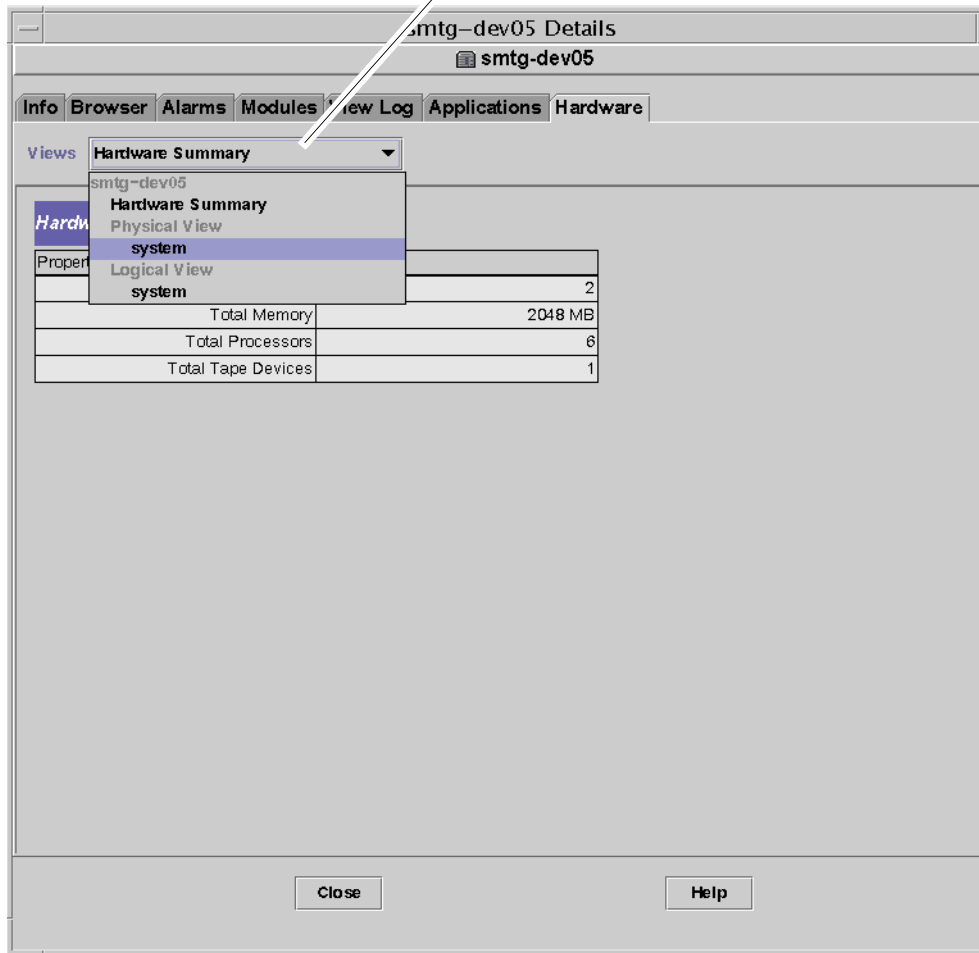


図 2-4 「ハードウェア」タブ内のプルダウンメニュー

「DR (動的再構成)」ボタン

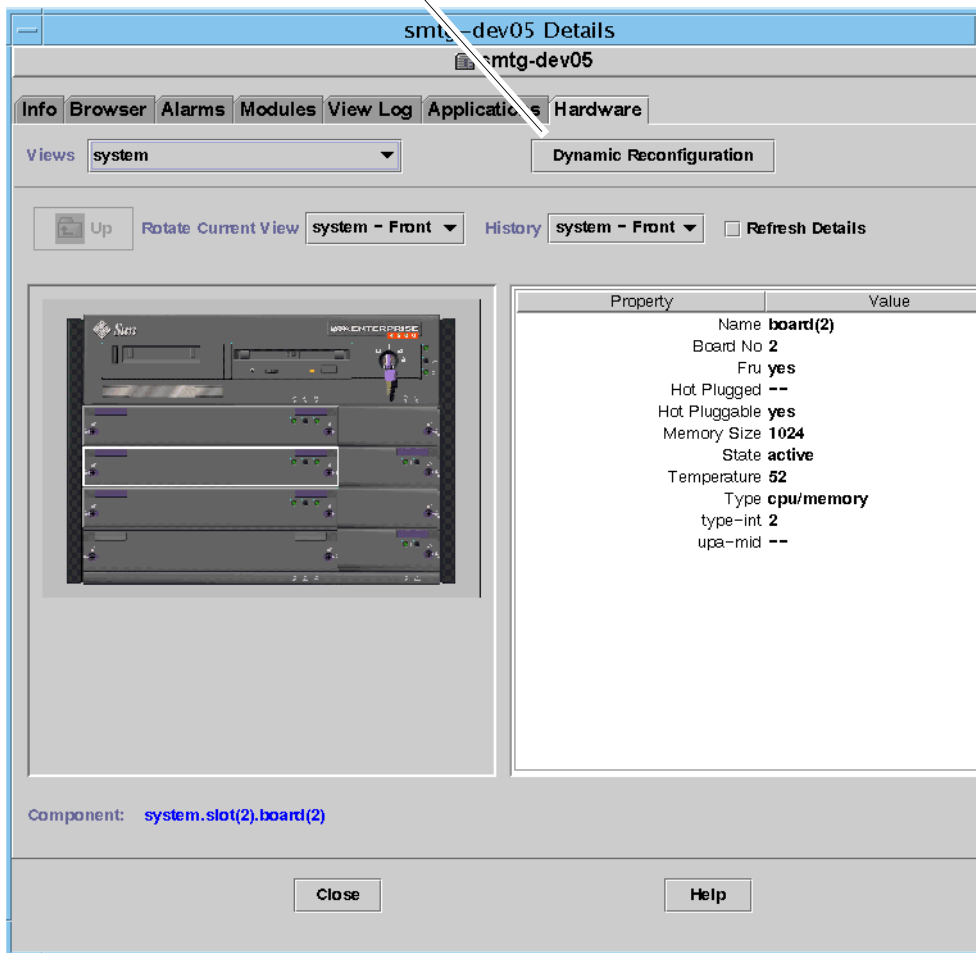


図 2-5 「ハードウェア」タブの物理表示

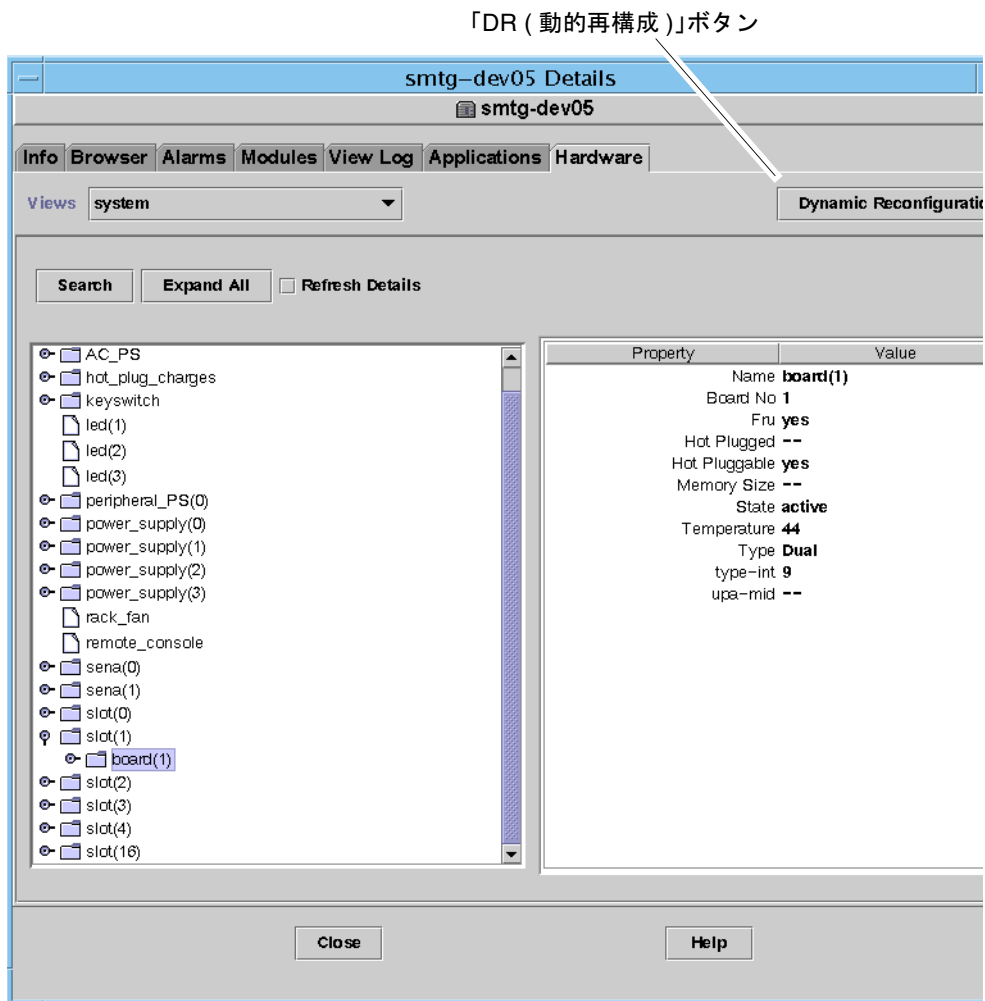


図 2-6 「ハードウェア」タブの論理表示

注 - 「詳細」ウィンドウの「ハードウェア」タブについては、『Sun Management Center 3.5 ユーザーガイド』の「管理オブジェクトの詳細表示」の章を参照してください。

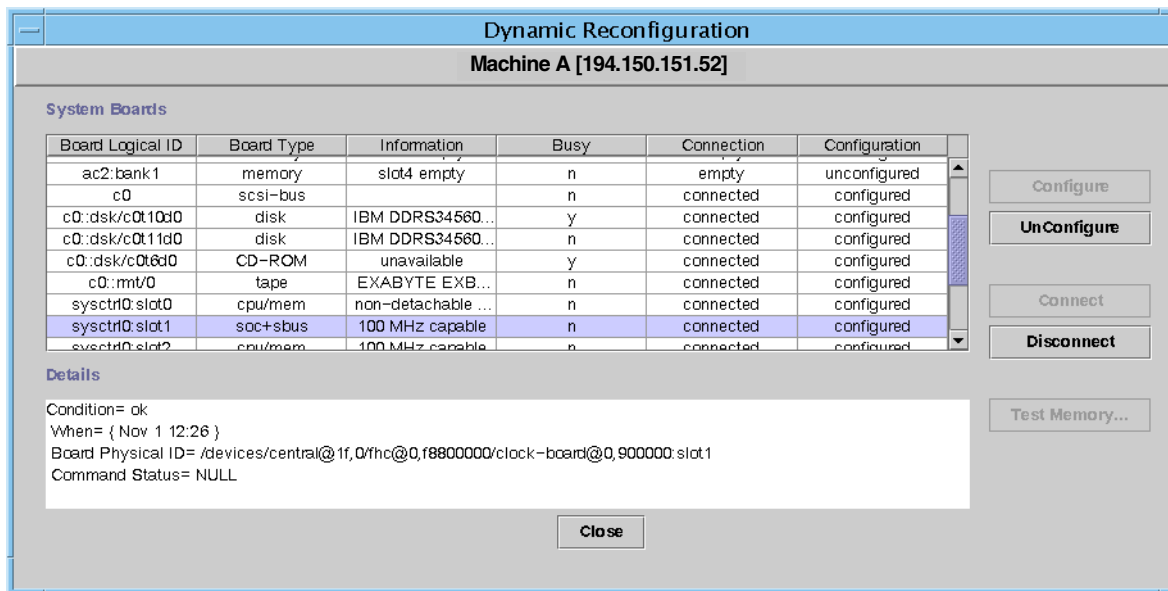


図 2-7 「DR (動的再構成)」 ウィンドウ

DR (動的再構成) のデータ属性テーブル

ここでは、DR (動的再構成) モジュールのデータ属性を簡単な表にまとめています。DR のデータ属性テーブルを選択すると、「詳細」ウィンドウの「ブラウザ」タブにテーブルが表示されます。データ属性テーブルの表示についての詳細は、『Sun Management Center 3.5 ユーザーガイド』の「管理オブジェクトの詳細表示」の章を参照してください。

表 2-1 動的再構成 (DR) の属性

属性	説明
一意の接続ポイント ID	一意の接続ポイント ID
受容装置	接続ポイントは、その先に存在するハードウェアリソースとは明確に区別される 2 つの固有の要素を定義します。受容装置は、その 2 つの固有の要素のうち 1 つです。構成管理では、接続ポイントにおける物理的な挿入や取り外し、その他の構成管理機能をサポートします。
占有装置	占有装置は接続ポイントのもう 1 つの要素で、物理的に挿入または取り外されたりするハードウェアリソースです。挿入や取り外しは接続ポイントで発生し、その結果として、受容装置は占有装置を得たり、失ったりします。

表 2-1 動的再構成 (DR) の属性 (続き)

属性	説明
状態	結合状態
情報	接続ポイントに関する、操作の日時などの追加情報
構成日時	前回要求された操作の発生日時
タイプ	関係するボードの種類 (判明している場合は、CPU、ディスク、メモリー)
ビジー	状態 (ビジーか否か)
物理 ID	ディレクトリパスまたは物理アドレス

システムボードサマリテーブル

システムボードサマリテーブルは、カードケージ内の全スロットの一覧で、スロットとその占有装置の状態を示します (表 2-2)。

表 2-2 システムボードサマリテーブル

列	説明
ボードの論理 ID	cfgadm コマンドによって割り当てられたボード ID
ボードのタイプ	ボードの種類 (入出力、CPU / メモリー、不明)
情報	スロットにボードが取り付けられた日時と、切断可能かどうかなどの、ボードに関する追加情報
ビジー	ボードが使用中であるかどうかの情報 (yes または no で表示)
接続	ボードの接続状態 (接続、切断、スロットが空のいずれか)
構成	ボードの構成状態 (構成中または構成解除状態のいずれか)

「詳細」パネル

システムボードサマリーテーブルの下の「詳細」パネルは、選択されているスロットとその占有装置 (ボード) の状態を示します (表 2-3)。

表 2-3 「DR (動的再構成)」ウィンドウの「詳細」パネル

フィールド	説明
状態	スロットを占有しているボードの状態
構成日時	前回要求された操作の発生日時。新しい操作を選択すると、そのときの日時に変わります。
ボードの物理 ID	ボードのシステム名
コマンド状態	ボードの DR 操作やエラーの状態に関する情報を表示します。

注 - 「構成」、「構成解除」、「接続」、「切断」、「メモリーテスト」ボタンは、ボードとスロットの状態によって、通常表示されたり、グレー表示されたりします。スロットが空の場合、動的再構成は行えません。

DR 操作の実行

「DR (動的再構成)」ウィンドウでは、次の 3 通りの DR 操作を実行できます。

- ボードの接続または切断
- ボードまたはメモリーバンクの構成または構成解除
- メモリーのテスト

注 - これらの機能の正しい使用方法については、『Sun Enterprise 6x00, 5x00, 4x00, 3x00 システム Dynamic Reconfiguration ユーザーマニュアル』(Part No.806-3865)を参照してください。

DR 操作の実行後に、「Error opening logical view (論理表示エラー)」または「Error opening physical view (物理表示エラー)」というエラーメッセージが表示された場合は、そのホストの「詳細」ウィンドウをいったん閉じて、開き直してください。

▼ ボードを接続する

注 – ボードの詳細な接続手順については、『Sun Enterprise 6x00, 5x00, 4x00, 3x00 システム Dynamic Reconfiguration ユーザーマニュアル』(Part No.806-3865)の「作業手順」の章を参照してください。

- システムボードサマリテーブルから適切なボードの行を選択し、「接続」ボタンをクリックします(図 2-8)。

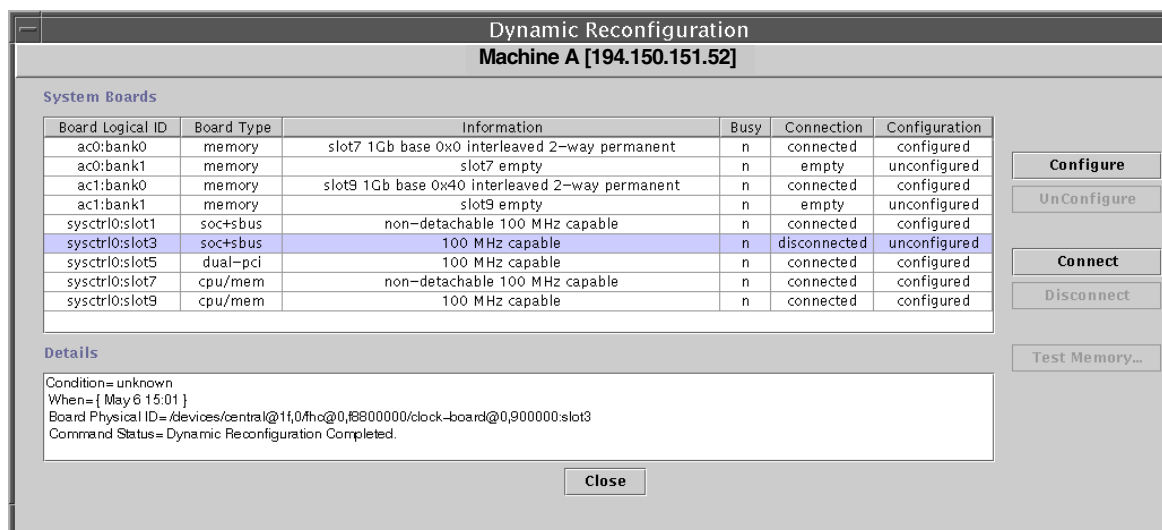


図 2-8 「DR (動的再構成)」 ウィンドウ - 切断されているボードを選択した状態

▼ ボードを切断する

注 – ボードの詳細な接続手順については、『Sun Enterprise 6x00, 5x00, 4x00, 3x00 システム Dynamic Reconfiguration ユーザーマニュアル』(Part No.806-3865)の「作業手順」の章を参照してください。

- システムボードサマリテーブルから適切なボードの行を選択し、「切断」ボタンをクリックします。

切断されたボードには、黄色い LED が点灯します(図 2-9)。

接続および構成されたボードを切断すると、自動的に構成解除されます。つまり、構成解除と切断の 2 つの操作が一度に行われます。

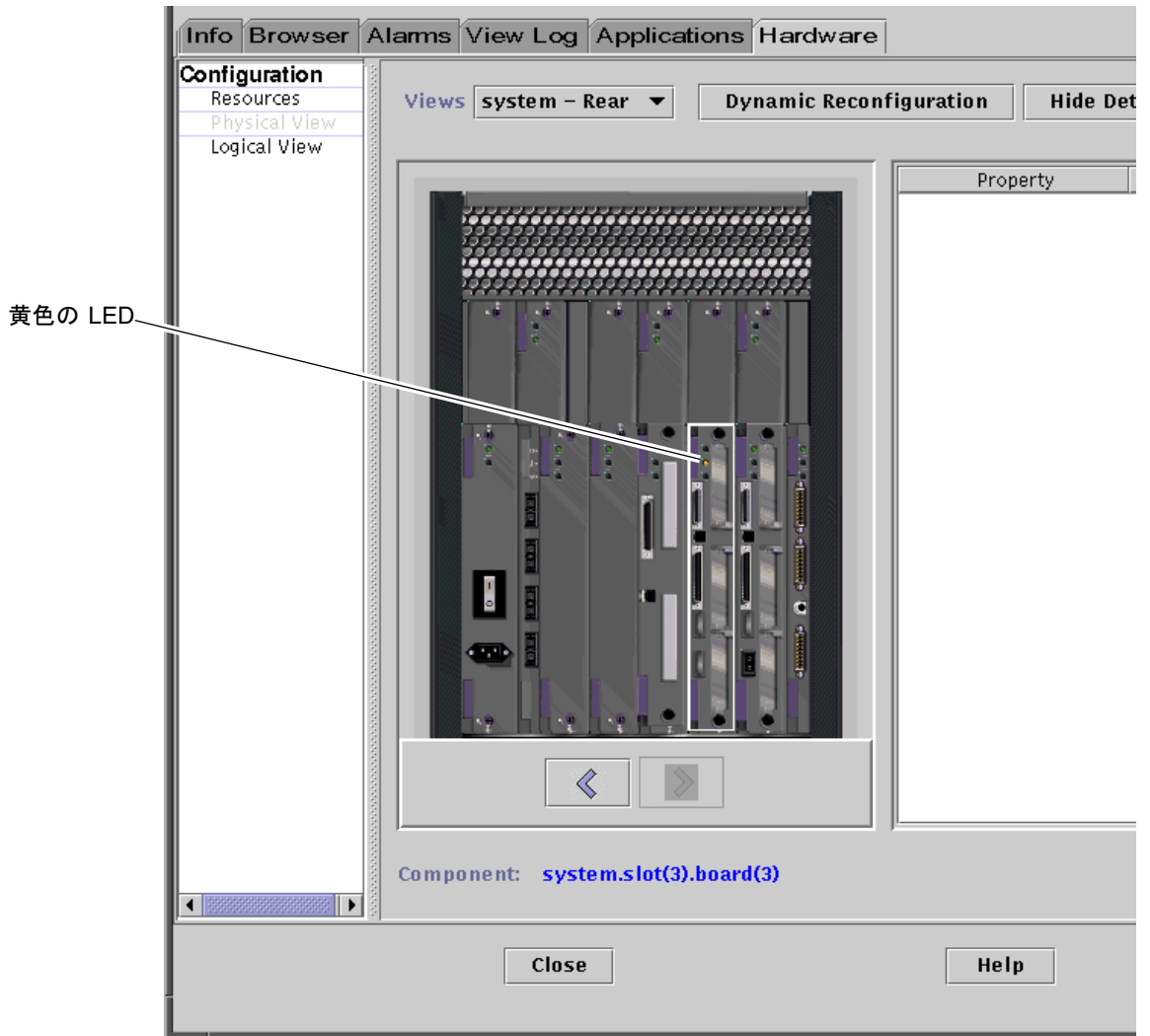


図 2-9 切断されたボードの物理表示 (黄色の LED が点灯)

▼ ボードを構成する

注 – ボードの詳細な接続手順については、『Sun Enterprise 6x00, 5x00, 4x00, 3x00 システム Dynamic Reconfiguration ユーザーマニュアル』(Part No.806-3865)の「作業手順」の章を参照してください。

1. システムボードサマリテーブルから適切なボードの行を選択し、「構成」ボタンをクリックします。

「確認」ダイアログボックスが表示されます(図 2-10)。

2. 「了解」または「取り消し」をクリックします。

切断されているボードを構成すると、自動的に接続されます。つまり、接続と構成の2つの操作が一度に行われます。

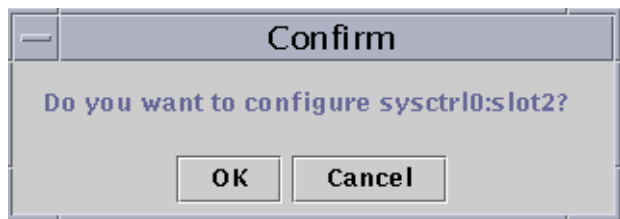


図 2-10 「確認」ダイアログボックス

▼ ボードを構成解除する

注 – ボードの詳細な接続手順については、『Sun Enterprise 6x00, 5x00, 4x00, 3x00 システム Dynamic Reconfiguration ユーザーマニュアル』(Part No.806-3865)の「作業手順」の章を参照してください。

- システムボードサマリテーブルから適切なボードの行を選択し、「構成解除」ボタンをクリックします。

メモリーのテスト

Sun Management Center 3.5 ソフトウェアの「DR (動的再構成)」ウィンドウでは、CPU / メモリーボード上のメモリーをテストすることもできます。

▼ メモリーをテストする

注 – ボードの詳細な接続手順については、『Sun Enterprise 6x00, 5x00, 4x00, 3x00 システム Dynamic Reconfiguration ユーザーマニュアル』(Part No.806-3865)の「作業手順」の章を参照してください。

メモリーをテストする前に、必ずボードを構成解除してください。

1. システムボードサマリテーブルから適切なボードの行を選択し、「メモリーテスト」ボタンをクリックします。

「メモリーテスト」ダイアログボックスが表示されます (図 2-11)。

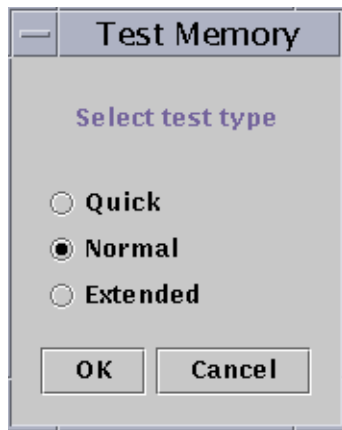


図 2-11 「メモリーテスト」ダイアログボックス

2. テスト方法 (簡易、通常、拡張のいずれか) を選択します。

簡易および通常のテストは数分で終了しますが、拡張テストは実行に 1 時間以上を要します。これらテストの詳細は、『Sun Enterprise 6x00, 5x00, 4x00, 3x00 システム Dynamic Reconfiguration ユーザーマニュアル』(Part No.806-3865)を参照してください。

3. ダイアログボックスを閉じて、メモリーのテストに進むには、「了解」をクリックします。テストをしない場合は、「取り消し」をクリックします。

構成リーダーモジュール

構成リーダーモジュールを読み込むと、ハードウェアのアイコンの下にモジュールが表示されます。

構成リーダー (sun4u/sun4d) モジュールはハードウェアを監視し、問題が発生すると警告を発生します。たとえば、構成リーダーモジュールは SIMM モジュールのエラーの有無を調べ、ボードの温度や電源装置の状態を監視します。

構成リーダーモジュールはまた、ホストの物理表示と論理表示情報を取得します。物理表示と論理表示についての全般的な情報は、『Sun Management Center 3.5 ユーザーガイド』を参照してください。

構成リーダーモジュールのデータ属性テーブル

この節では、構成リーダーモジュールの次のデータ属性テーブルをまとめています。

- 31 ページの「システムテーブル」
- 32 ページの「ボードテーブル」
- 32 ページの「CPU ユニット属性テーブル」
- 33 ページの「SIMM テーブル」
- 33 ページの「AC 電源装置テーブル」
- 33 ページの「ホットプラグ充電テーブル」
- 34 ページの「補助用 5V テーブル」
- 34 ページの「周辺装置用 5V、周辺装置用 12V、システム用 3V、システム用 5V テーブル」
- 35 ページの「キースイッチテーブル」
- 35 ページの「周辺装置用電源装置テーブル」
- 35 ページの「電源装置テーブル」
- 36 ページの「ラックファンテーブル」
- 36 ページの「遠隔コンソールテーブル」
- 36 ページの「FHC テーブル」
- 37 ページの「AC テーブル」
- 37 ページの「ファンテーブル」
- 38 ページの「入出力コントローラテーブル」
- 38 ページの「入出力デバイステーブル」
- 39 ページの「ディスクデバイステーブル」
- 39 ページの「テープデバイステーブル」
- 40 ページの「ネットワークデバイステーブル」

以下の表に、構成リーダーの各データ属性テーブルに含まれるデータ属性をまとめています。構成リーダーのデータ属性を選択すると、「詳細」ウィンドウの「ブラウザ」タブにデータ属性テーブルが表示されます。詳細は、『Sun Management Center 3.5 ユーザーガイド』の「管理オブジェクトの詳細表示」の章を参照してください。

システムテーブル

表 2-4 システムの属性

属性	説明
名前	インスタンス名
オペレーティングシステム	マシンで動作中のオペレーティングシステム
オペレーティングシステム のバージョン	オペレーティング環境のバージョン
システムクロック周波数	クロック周波数
アーキテクチャー	マシンのアーキテクチャー
システムのホスト名	システムのホスト名
マシン名	マシンのタイプ
システムプラットフォーム	システムのハードウェアプラットフォーム
シリアル番号	マシンのシリアル番号
タイムスタンプ	タイムスタンプ値
Raw タイムスタンプ	Raw タイムスタンプ値
総ディスク数	システム全体の総ディスク数
総メモリー容量	システム全体の総メモリー容量
総プロセッサ数	システム全体の総プロセッサ数
総テープデバイス数	システム全体の総テープデバイス数

ボードテーブル

表 2-5 ボードの属性

属性	説明
名前	インスタンス名
ボード番号	ボードの番号
FRU	現場交換可能ユニット
ホットプラグ	ホットプラグの有無
ホットプラグ可能	ホットプラグの可 / 不可
メモリーサイズ	メモリーのサイズ
状態	状態
温度	ボードの温度
タイプ	CPU またはメモリー、SBus、クロックなどのボードの種類

CPU ユニット属性テーブル

表 2-6 CPU ユニットの属性

属性	説明
名前	名前
ボード番号	ボードの番号
クロック周波数	タイマーの周波数
CPU タイプ	システムのタイプ
D キャッシュサイズ	D キャッシュのサイズ (K バイト単位)
E キャッシュサイズ	E キャッシュのサイズ (M バイト単位)
FRU	現場交換可能ユニット
I キャッシュサイズ	I キャッシュのサイズ (K バイト単位)
モデル	CPU のモデル名
プロセッサ ID	プロセッサの識別番号
状態	CPU ユニットの状態
ユニット	ユニットの識別情報

SIMM テーブル

表 2-7 SIMM の属性

属性	説明
名前	SIMM の名前
ボード参照番号	ボード参照番号
FRU	現場交換可能ユニット
サイズ	SIMM のサイズ (MB)
スロット	SIMM の番号
状態	SIMM の状態

AC 電源装置テーブル

表 2-8 AC 電源装置の属性

属性	説明
名前	名前
状態	状態

ホットプラグ充電テーブル

表 2-9 ホットプラグ充電の属性

属性	説明
名前	名前
FRU	現場交換可能ユニット

補助用 5V テーブル

表 2-10 補助用 5V の属性

属性	説明
名前	名前
FRU	現場交換可能ユニット
状態	状態

周辺装置用 5V、周辺装置用 12V、システム用 3V、システム用 5V テーブル

表 2-11 は、次の電源の属性をまとめています。

- 周辺装置用 5V
- 周辺装置用予備 5V
- 周辺装置用 12V
- 周辺装置用予備 12V
- システム用 3V
- システム用予備 3V
- システム用 5V
- システム用予備 5V

表 2-11 周辺装置およびシステム用の電源に共通の属性

属性	説明
名前	名前
FRU	現場交換可能ユニット
状態	電源装置の状態

キースイッチテーブル

表 2-12 キースイッチの属性

属性	説明
名前	名前
位置	キースイッチの位置

周辺装置用電源装置テーブル

表 2-13 周辺装置用電源装置の属性

属性	説明
名前	名前
FRU	現場交換可能ユニット
HPU	ホットプラグ可能ユニット
状態	周辺装置用電源装置の状態
ユニット番号	ユニット番号

電源装置テーブル

表 2-14 電源装置の属性

属性	説明
名前	名前
FRU	現場交換可能ユニット
HPU	ホットプラグ可能ユニット
状態	状態
ユニット番号	ユニット番号

ラックファンテーブル

表 2-15 ファンの属性

属性	説明
名前	名前 (例 : rack_fan)
状態	ファンの状態

遠隔コンソールテーブル

表 2-16 遠隔コンソールの属性

属性	説明
名前	インスタンス名 (例 : remote_console)
状態	遠隔コンソールの状態 (使用可、使用不可)

FHC テーブル

FHC は、入出力ユニット内のデバイスです。

表 2-17 FHC の属性

属性	説明
名前	名前
ボード番号	ボードの番号
モデル	FHC のモデル名
UPA MID	Ultra ポートアーキテクチャーユニットの番号
バージョン番号	バージョン番号

AC テーブル

表 2-18 AC の属性

属性	説明
名前	名前
バンク 0 の状態	バンク 0 の状態
バンク 1 の状態	バンク 1 の状態
デバイスタイプ	デバイスのタイプ
モデル	AC のモデル番号
バージョン番号	バージョン番号

ファンテーブル

表 2-19 ファンの属性

属性	説明
名前	名前
状態	ファンの状態

PFA 規則テーブル

表 2-20 は、予測障害分析 (PFA) 規則の属性をまとめています。

表 2-20 PFA 規則の属性

属性	説明
PFA の SIMM 規則	SIMM 規則値
PFA のディスク規則	ディスク規則値
SMART/PFA のディスク規則	Smart PFA のディスク規則値

入出力コントローラテーブル

表 2-21 入出力コントローラの属性

属性	説明
名前	名前
ボード番号	ボードの番号
クロック周波数	タイマーの周波数
デバイスタイプ	デバイスのタイプ
インスタンス番号	インスタンス番号
モデル	入出力コントローラのモデル名
登録	登録属性
UPA MID	UPA の MID
UPA ポート ID	UPA のポート ID
バージョン番号	バージョン番号

入出力デバイステーブル

表 2-22 入出力デバイスの属性

属性	説明
名前	インスタンス名
デバイスタイプ	デバイスのタイプ
ディスク数	このデバイスのディスク数
インスタンス番号	インスタンス番号
モデル	入出力デバイスのモデル名
ネットワーク数	このデバイスのネットワークインタフェース数
登録	登録属性
テープ数	このデバイスのテープデバイス数

ディスクデバイステーブル

表 2-23 ディスクデバイスの属性

属性	説明
名前	名前
デバイスタイプ	デバイスのタイプ
ディスク名	ディスクの名前
FRU	現場交換可能ユニット
インスタンス番号	ディスクのインスタンス番号
ディスクのターゲット	ディスクのターゲット番号 ト

テープデバイステーブル

表 2-24 テープデバイスの属性

属性	説明
名前	名前
デバイスタイプ	デバイスのタイプ
FRU	現場交換可能ユニット
インスタンス番号	テープのインスタンス番号
モデル	テープデバイスのモデル名
テープ名	テープ名
状態	テープデバイスの状態
テープターゲット	テープのターゲット番号

ネットワークデバイステーブル

表 2-25 ネットワークデバイスの属性

属性	説明
名前	名前
デバイスタイプ	デバイスのタイプ
Ethernet アドレス	インタフェースの Ethernet アドレス
インターネットアド レス	インタフェースのインターネットアド レス
インタフェース名	インタフェースの名前
記号名	インタフェースの記号名

構成リーダーの規則

この節では、構成リーダーの規則を表にまとめています。重大アラームの規則については特に詳しく説明しています。

表 2-26 構成リーダーの規則

規則 ID	説明	アラームの種類
rcr4u201	予備電圧の状態に関する規則 予備電圧の状態が「OK (正常)」以外の場合にアラームが発生します。	重大
rcr4u203	電源装置の状態に関する規則 電圧装置の状態が「OK (正常)」以外の場合にアラームが発生します。	重大
rcr4u204	ファンの状態規則 ファンの状態が「OK (正常)」以外の場合にアラームが発生します。	エラー
rcr4u205	温度規則 システムボードの温度がしきい値を超えた場合にアラームが発生します。ボードの温度によって、重大または警告アラームが発生します。	重大、警告
rcr4u207	CPU ユニットの状態に関する規則 CPU がオンライン以外の場合にアラームが発生します。	重大
rcr4u208	syslog に ECC エラーが記録されている	すぐに閉状態になる警告アラーム

表 2-26 構成リーダーの規則 (続き)

規則 ID	説明	アラームの種類
rcr4u209	SIMM エラー規則	すぐに閉状態になる警告アラーム
rcr4u210	ハードウェアエラー	すぐに閉状態になる警告アラーム
rcr4u211	致命的なエラー	すぐに閉状態になる警告アラーム
rcr4u212	CPU が検出した SIMM の ECC エラー	すぐに閉状態になる警告アラーム
rcr4u213	ホットプラグの取り外し	すぐに閉状態になる警告アラーム
rcr4u214	電源障害	すぐに閉状態になる警告アラーム
rcr4u215	ホットプラグ	すぐに閉状態になる警告アラーム
rcr4u216	CPU パニック	すぐに閉状態になる警告アラーム
rcr4u217	SCSI テープエラー	すぐに閉状態になる警告アラーム
rcr4u218	AC の状態に関する規則 AC の状態が「OK (正常)」以外の場合にアラームが発生します。	重大
rcr4u219	ディスク取り外し	すぐに閉状態になる警告アラーム
rcr4u220	ディスク挿入	すぐに閉状態になる警告アラーム
rcr4u221	冗長電源	すぐに閉状態になる警告アラーム
rcr4u224	ホットプラグ取り付け	すぐに閉状態になる警告アラーム
rcr4u225	ST の状態に関する規則 テープドライブの状態が「OK (正常)」以外の場合にアラームが発生します。	重大

表 2-26 構成リーダーの規則 (続き)

規則 ID	説明	アラームの種類
rpfa300	syslog に SIMM メモリーエラーが記録されているかどうかを調べて、それぞれのエラーについて予測障害アラームエントリを作成する複合規則です。	重大
rpfa301	syslog にディスクのソフトエラーが記録されているかどうかを調べて、それぞれのエラーについて予測障害アラームエントリを作成する複合規則です。	重大
rpfa302	syslog に、SMART ドライブによって生成されたディスクのソフトエラーが記録されているかどうかを調べる複合規則です。	重大